

## 学習習慣や生活習慣の傾向 ～児童生徒質問紙調査から～

小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域行事への参加」「いじめを許さない意識」「やり遂げる気持ち」等の項目で全国平均より高くなっています。</li> <li>ICT活用について数値が高く、子どもたちに機器や端末使用に対して苦手意識はないようです。</li> <li>一方、「基本的な生活習慣(就寝・起床・朝ごはん)」や「ゲームをする時間」「新聞を読む」「家庭学習」等で全国平均に比べ課題のある項目となっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科への関心はとも高く、意欲的に授業を受けている生徒が多いです。</li> <li>家庭学習の習慣はついてきているものの、日常的に家庭学習を1時間以上行う生徒は少なく、学習内容の定着に課題があります。</li> <li>朝読書の効果もあり、読書に親しむ生徒が増えています。</li> <li>ゲームやスマホに費やす時間が長い傾向にあります。</li> </ul>
具体的な方策	具体的な方策
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校では「分かる・楽しい授業づくり」に努め、子どもの学ぶ意欲を高め、学ぶ楽しさを実感させていきます。また家庭とも連携して、学習の方法や学習習慣を身に付けさせるよう取り組みます。</li> <li>家庭では、家庭生活の中に「家庭学習と読書」を位置づけ、テレビやゲームをする時間と学習や読書に取り組む時間とのバランスを見直し、基本的な生活習慣が定着するようご指導願います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習ノートの提出を呼びかけたり、定期テスト前に学習計画表を作成する活動を通して、自ら学習に取り組む習慣を身につけさせます。</li> <li>学校でも指導しますが、家庭でのゲームやスマホの使い方のルールを親子でしっかり話し合ってください。</li> <li>授業や学級活動、部活動を通して、自分の生き方や将来について考えられるように指導します。また、生徒の自己肯定感をより一層高め、自信をもって物事に取り組めるよう指導していきます。</li> </ul>

## 児童生徒をより伸ばすための学校の取組み (改善策)

小学校	中学校
<p><b>国語</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「書く」ことに対する苦手意識を払拭するために、様々なことについて書く作業を増やします。</li> <li>段階的に字数の制限や使う単語の指定等、条件を付けた記述の練習を授業の中で行います。</li> </ul> <p><b>算数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計算の意味や計算の仕方を、図や数直線などを用いて関連付けながら考え、説明できるような学習を工夫します。</li> <li>まとめの問題やプリント学習で基礎的・基本的な知識・技能の定着を確認し、必要に応じた補充指導を行います。</li> </ul>	<p><b>国語</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の教材だけでなく、近代の名著にふれる機会をつくり、読むことに慣れたり、語彙力を高めたりする学習場面を増やします。</li> <li>問題の意図をくみ、条件をしっかり確認して記述する(答える)という学習スタイルを繰り返します。</li> </ul> <p><b>数学</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元ごとに復習する時間を多く取り入れたり、小テストを積極的に行ったりして、定着を深める指導を進めていきます。また、習熟度別学習を効果的に取り入れ、個に応じたきめ細やかな指導をします。</li> <li>個人やグループで考えさせる時間をとり、思考力、判断力、表現力が身に付くように授業を工夫します。</li> </ul>

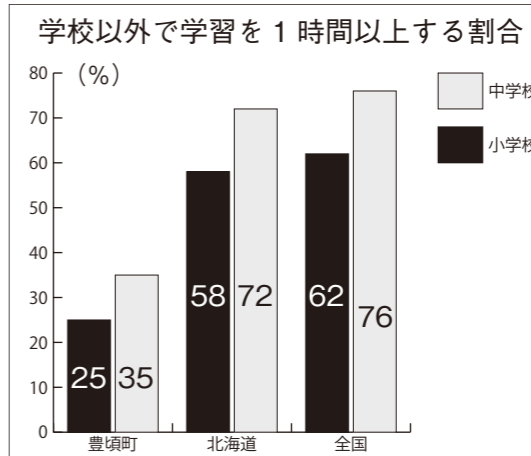
## 豊頃町の児童生徒の学習・生活の充実のために

- 学校では**、学習規律の定着と同時に、基礎的・基本的な学習内容の確実な習得に努めるとともに、これを基礎とした体験型・課題解決型の学習活動を多く取り入れるなどし、子ども自らが主体的に学び、一人ひとりに自分のよさを見つけさせるようにしていきます。そのために、わかりやすい授業づくり、宿題の質を高めるなど、子どもたちが集中して学ぶことができるよう教育環境を整えます。また「主体的・対話的で深い学びからの授業改善」に努め、個別最適な学びと協働的な学びを推進し、子どもの学びの意欲を高め、その楽しさを実感させていきます。あわせて家庭とも連携して、学び方や学習習慣が身に付くよう取り組みます。
- 家庭では**、学校と連携・協力して、子どもの生活習慣等(「早寝・早起き・朝ごはん」、手伝い、テレビやゲームをする時間)を見直すとともに、家庭学習の習慣化に取り組みましょう。
- 地域では**、学校行事や四季折々の町内行事、日常の活動場面などにおいて、積極的に活動をしている子どもたちへの温かい励ましや教育活動へのご協力をお願いいたします。



## 豊頃の子どもの学力等の傾向

＜小学校＞国語は全体正答率が全道・全国平均をやや下回る結果となりました。国語では「思考・判断・表現」の領域で平均を下回りましたが、その他の領域は全道・全国平均と大差はありませんでした。算数は全道・全国平均とほぼ同様の結果となりました。「図形」「データの活用」に苦手意識があるようです。他の内容に大差はありませんでした。



＜中学校＞国語・数学ともに全道・全国平均を下回る結果となりました。国語は「書くこと」領域が平均を上回り、他の領域で下回る結果となりました。数学では、「関数」が全道・全国平均を上回り、「図形」はほぼ同様、「数と式」「資料の活用」の内容では下回る結果となりました。

## 教科ごとの傾向

小学校	中学校
<p><b>国語</b></p> <p>◇「知識および技能」の観点では全国平均とほぼ同様ですが、「思考・判断・表現」で下回っています。特に、記述式問題への苦手意識が見られます。字数制限や指定単語使用等の条件付記述に大きな課題がみられます。</p>	<p><b>国語</b></p> <p>◇「漢字」や「話し合いに関する問題」「わかりやすい文章構成に関する問題」については、概ね定着が図られています。</p> <p>◇一方、「語彙力」や「問いの意図、何をどのように答えたらよいかを把握する力」「いろいろな種類、文体の文章に対応する力」の内容に課題がみられました。</p>
<p><b>算数</b></p> <p>◇「数と計算」「量と測定」「変化と関係」については、概ね定着が図られていますが、「図形」「データの活用」において課題がみられました。</p> <p>◇「図形」「データの活用」にもみられますが、思考の過程を言葉や式で説明する問題に課題がみられます。いずれの教科にもいえますが、自身の思考や判断の根拠を言葉で説明＝表現することに対して苦手意識があるようです。</p>	<p><b>数学</b></p> <p>◇「知識」に関する問題では、正答率が高く定着が図られています。</p> <p>◇一方、理由や説明を答える「記述式」の問題での苦手意識が高くなっています。</p>



令和3年度 全国学力・学習状況調査  
**豊頃町の児童生徒の学力や生活習慣は？**

令和3年5月に小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語・算数(数学)で全国学力・学習状況調査が実施され、分析結果が示されました。この結果を基に教育委員会・教育研究所では、町内各校の学力のより確実な定着に向けた取組を尊重しつつ、豊頃町全体の教育環境づくりの観点から、子どもの学びを育む学校、家庭、地域の更なる連携に期待をし、次のとおり分析結果をまとめました。

問合せ先  
 豊頃町教育委員会・豊頃町教育研究所  
 ☎ 579・5801